

江戸川学園おおたかの森専門学校

学校関係者評価委員会議事録

(令和 6年度)

2025年 9 月

学校法人江戸川学園

江戸川学園おおたかの森専門学校

1. 学校関係者評価委員会開催概要

開催日時	2025年10月11日(土)午後1時30分～午後2時30分	
開催場所	江戸川学園おおたかの森専門学校 P202会議室	
参加者(敬称略)	江戸川学園おおたかの森専門学校後援会会長 江戸川学園おおたかの森専門学校同窓会会長 駒木自治会会長 社会福祉法人修央会 船橋笑寿会 相談室長 学校法人江戸川学園江戸川大学教授	川崎 一也 皆川 博行 渡邊 治 平尾 悟 神田 洋
学校側参加者(オブザーバー)	江戸川学園おおたかの森専門学校 // 校長 // 副校長 // 副校長 // 教育部長 // 事務部長	原田 聖子 小林 恵一 楢崎 浩幹 野口 和江 大中 二郎 奥山 武浩

2. 議事内容

学校関係者評価委員会の趣旨及び議事進行について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原田校長挨拶 ・ 江戸川学園おおたかの森専門学校事務部長 大中 二郎(以下 大中部長)より議事内容・進行について説明があった。 ・ 本委員会開催に関し、「学校評価に関する関連法令」及び本委員会の開催主旨、評価結果の開示状況などについて説明がなされた。 ・ 議題は以下の2つになる。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度(2024年度)・令和7年度(2025年度)の事業計画及び進捗について (2) 令和6年度自己評価結果の説明および審議 ・ 議事内容・進行については、「学校自己評価報告書(令和6年度)」(各評価項目)に基づいて審議し、評価を行うこととした。
委員会の成立及び議長選出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の参加者及び欠席者を確認(委員5名のうち5名出席)し、定足数(委員の過半数)に達していることを確認。 ・ 委員の互選により江戸川学園おおたかの森専門学校同窓会会長皆川博行氏(以下 皆川氏(議長・委員長))を議長(委員長)として選出。

(1)令和 6年度自己評価結果の説明および審議

- . 学校の現況
- . 評価の基本方針
- . 重点目標

□. 評価項目の達成及び取組み状況

(1)教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none">・ 皆川氏(議長・委員長)より、(1)の項目についての説明が求められた。・ 大中部長より、(1)の項目について、説明がなされた。・ (各委員によって項目の再確認がなされた)
(2)学校運営	<ul style="list-style-type: none">・ 皆川氏(議長・委員長)より、(2)の項目についての説明が求められた。・ 大中部長より、(2)の項目について、説明がなされた。・ 皆川氏より、専門学校の少子化対策や学校の持続性などについてどのように考えているかについて説明が求められた。 原田校長から、本校は地域の福祉人材の輩出に重要な位置を占めており、地域の社会から求められている機関であるため引き続き継続をする考えであり、学園も同様の考えである旨の説明があった。・ 榑崎副校長より、今年度オープンキャンパスについては来場者数が20%アップの状況で推移しており、入学者数も増加するよう進めていきたいとの説明があった。・ 平尾氏より、学科構成の中に募集停止学科があるがその状況について説明が求められた。 原田校長から、募集停止学科の各学科の機能の中、現行学科に推移している部分があること、あわせて募集停止の経緯について説明があった。

<p>(3)教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆川氏(議長・委員長)より、(3)の項目についての説明が求められた。 ・ 大中部長より、(3)の項目について、説明がなされた。 ・ 皆川氏より授業評価アンケートの回収状況と意見の内容について説明が求められた。 ・ 原田校長より、現在Webシステムでの回答となり、回収としては横ばいであること、意見の内容は各担当教員の確認となっている旨の説明があった。
<p>(4)学修成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆川氏(議長・委員長)より、(4)の項目についての説明が求められた。 ・ 大中部長より、(4)の項目について、説明がなされた。 ・ 平尾氏より、就職率100%とのことであるが、募集そのものの件数はどの程度かとの質問がなされた。 野口部長より、およそ10,000件程度(全国)の売り手市場状況であるとの説明があった。 ・ 川崎氏より、学科ごとの求人の比率について質問がなされた。 原田校長および野口部長より、各学科とも高い求人状況であり、特に介護などについてはニーズが向上しているとの説明があった。 ・ 神田氏より、卒業生のキャリア形成への効果の把握をした後どのように活用するかとの質問がなされた。 原田校長及び野口部長より、卒業生に教職員としての学校に戻ってきてもらうことなどによる教育活動の改善を考えているとの説明があった。
<p>(5)学生支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆川氏(議長・委員長)より、(5)の項目についての説明が求められた。 ・ 大中部長より、(5)の項目について、説明がなされた。 ・ 皆川氏より、退学率および退学における経済的困窮者の状況について説明が求められた。 原田校長および野口部長より、退学者の現状について、体調不良者の数が大きくなっていること、家庭の問題について見受けられることなどの説明があった。

<p>(6)教育環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆川氏(議長・委員長)より、(6)の項目についての説明が求められた。 ・ 大中部長より、(6)の項目について、説明がなされた。 ・ 平尾氏より、防災体制について、学生に含んでの防災計画についてどのように考えているかとの質問がなされた。 小林副校長より、現在は学生を含んでの防災計画までは至っていないが、防災備蓄を進めていくことも想定している旨説明がなされた。 ・ 川崎氏より、海外研修等の実施予定について質問がなされた。 原田校長より、現状の経済事情等も含め難しいという回答があった。 ・ 神田氏よりPCの個人所持の有無によるスキルに差があるかとの質問がなされた。 原田校長及び小林副校長より、所持の有無による差よりも、個人のスキルによる部分が多い旨の説明があった。 ・ 皆川氏より、インターンシップ制導入の検討状況はどうかとの質問がなされた。 原田校長より、実習などの活用も実施しているが、就職体験なども行えないかなど、職場を知るための方法をさらに考えたいとの説明があった。
<p>(7)学生の受入れ募集</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆川氏(議長・委員長)より、(7)の項目についての説明が求められた。 ・ 大中部長より、(7)の項目について、説明がなされた。 榑崎副校長より、高校の教員への説明、進路ガイダンス、SNSの活用状況などについて追加で報告を行った。
<p>(8)財務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆川氏(議長・委員長)より、(8)の項目についての説明が求められた。 ・ 大中部長より、(8)の項目について、概略説明がなされた。 (各委員によって項目の再確認がなされた)
<p>(9)法令等の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆川氏(議長・委員長)より、(9)の項目についての説明が求められた。 ・ 大中部長より、(9)の項目について、説明がなされた。 ・ 皆川氏より、個人情報の保護のための対策取り扱いについて評価が2になっているが、具体的に何か理由があるかとの質問がなされた。 大中部長より、取り扱いルールや研修について整備をさらに行いたいとの意図があり今回の評価点としている旨回答があった。

<p>(10)社会貢献・地域 貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆川氏(議長・委員長)より、(10)の項目についての説明が求められた。 ・ 大中部長より、(10)の項目について、説明がなされた。 ・ 皆川氏より、地域に対する公開講座の実施状況について質問がなされた。 <p>野口部長より、市および自治体の依頼として15件以上となる旨説明があった。</p>
<p>(11)国際交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆川氏(議長・委員長)より、(11)の項目についての説明が求められた。 ・ 大中部長より、(11)の項目について、説明がなされた。 ・ 平尾氏より、留学生の国家資格の合格率が56%と向上しているが、この合格率向上の理由としては何が想定されるか。 <p>野口部長より、優秀な学生が多かったこともあるが、留学生のモチベーション向上なども想定している。今後とも日本語力の向上なども含め検討したいとの説明があった。</p>
<p>総括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大中部長より、以上をもって全項目の評価・審議を終え、その他の意見・質問等についての確認がなされた。